

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 4 週(1 月 22 日～ 1 月 28 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザ警報発令中です！

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

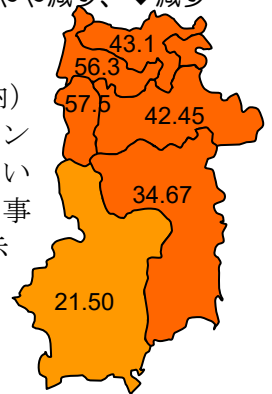
順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	47.81	(41.61)	↑	↑↑↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	5.71	(5.97)	→	↗	→	↑
3	A群溶連菌咽頭炎	2.09	(2.09)	↑	↑	↗	→
4	RS ウイルス感染症	0.68	(0.38)	↓	→	↓	↓
5	突発性発しん	0.38	(0.32)	→	→	↗	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの流行警報発令中です。北部地域(奈良市保健所及び郡山保健所管内)では、前週より増加しています。小児科外来情報にもあるように、今年のインフルエンザはA型とB型が混合して流行しており、一度かかっても再度別の型に感染してしまいます。感染しても症状が軽く、インフルエンザと気づかず生活し感染を広げてしまう事も多いです。体調不良を感じたら、無理せず、早めに医療機関を受診し、医師の指示を守るようにしてください。また、咳エチケットを心がけ、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控えるなど、感染予防・感染症の拡大予防を心がけてください。



❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

1月中旬前後からインフルエンザの流行が再び大流行しています。今シーズンの特徴は、昨年12月後半からA型とB型の同時流行です。1月に入ってから1週間以上の間隔を置いてAとBの2回罹患者がみられています。B型では成人で全身倦怠感と軽度の咳や鼻汁のみで全く熱の無い方でも迅速検査陽性の方をよくみかけます。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが大流行中。A型・B型混在。ほぼ同程度の割合。同月中に両方に罹患例もある。比較的軽症傾向。無熱、微熱のみ、一旦解熱例などでも陽性例がある。同家族内同一日検査で兄B型、妹2人A型の例があった。

他に感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、水痘があった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザ流行中。A型よりB型優位。タミフル、ラピアクタに不応のB型がみられ、自然経過としても発熱が1週間近く続いている。吸入抗インフルエンザ薬は効いている。RSウイルスも多く入院例もある。胃腸炎は下痢中心でノロウイルス様ではない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 4 週 1 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3		
インフルエンザ	2582 (47.81)	604 (43.14)	789 (56.36)	467 (42.45)	575 (57.50)	43 (21.50)	104 (34.67)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	23 (0.68)	3 (0.33)	8 (0.89)	7 (1.00)	4 (0.67)		1 (0.50)	
咽頭結膜熱	5 (0.15)		2 (0.22)	1 (0.14)	2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	71 (2.09)	9 (1.00)	20 (2.22)	5 (0.71)	35 (5.83)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	194 (5.71)	40 (4.44)	54 (6.00)	39 (5.57)	48 (8.00)	4 (4.00)	9 (4.50)	
水痘	11 (0.32)	3 (0.33)	5 (0.56)		3 (0.50)			
手足口病	5 (0.15)	2 (0.22)	1 (0.11)	1 (0.14)	1 (0.17)			
伝染性紅斑	2 (0.06)		1 (0.11)	1 (0.14)				
突発性発しん	13 (0.38)	4 (0.44)	2 (0.22)	3 (0.43)	4 (0.67)			

(百日咳は全数把握対象疾患となりました)

ヘルパンギーナ	1 (0.03)							1 (0.50)
流行性耳下腺炎	4 (0.12)	1 (0.11)	1 (0.11)		2 (0.33)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)		2 (0.67)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市1、郡山2、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	急性脳炎2件(奈良市1、中和1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 侵袭性肺炎球菌感染症1件(奈良市1) 水痘(入院例)1件(中和1) 梅毒3件(奈良市2、郡山1)

❖ 第 4 週のトピックス ❖

・毎年2月4日は“風疹の日” 2月は“風疹ゼロ”月間!

風疹にご注意! わが国では風疹流行のリスクはいまだに消えていません!

- ①海外にでかけるなら風疹の用心と万全の対策を!
- ②海外から帰国後の体調異変はもしかしたら風疹かも! 診察をうけてから職場へ
- ③30~50代の男性は風疹への抵抗力が弱い人が多く、ぜひMRワクチンを接種してください(かかりつけ医、職場健康相談で尋ねてください)。
- ④妊娠を考えているおふたりへ
風疹対策は大丈夫ですか? 予防接種は妊娠前に忘れずに!
(各市町村で風しん抗体検査助成事業が実施されています 詳しくは保健所へ)

【“風疹ゼロ”プロジェクトメッセージ2018】

■“風疹ゼロ”プロジェクトホームページ <http://www.iaog.or.jp/rubella/>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段: 報告数
(下段): 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	3	12	50	44	61	97	118	95	117	99	94	244	64	20	33	71	47	35	21	9	1334	3386
	女	2	9	44	54	81	94	107	77	75	86	221	51	34	59	67	47	53	22	15	15	1248	3335
RSウイルス感染症	男		5	4	1	1																11	56
	女	2	5	2	3																	12	56
咽頭結膜熱	男			1	1																	3	16
	女						1			1												2	11
A群溶連菌咽頭炎	男			1	5	6	5	8	6	2	2	2	1									38	112
	女		1	1	3	5	3	8	5		2	2	2		1							33	92
感染性胃腸炎	男	1	8	22	8	9	10	3	5	4	3	4	9	1	8							95	344
	女	1	5	16	13	12	11	4	4	3	3	3	7	2	15							99	323
水痘	男		1					1	1			1	1									4	22
	女			1								2	1		1							7	29
手足口病	男					2																2	6
	女			1		1																3	6
伝染性紅斑	男									2												2	3
	女																						
突発性発しん	男		6	2			1															9	21
	女		1	2	1																	4	23
(百日咳は全数把握対象疾患となりました)																							
ヘルパンギーナ	男						1															1	5
	女																						2
流行性耳下腺炎	男				1						1											2	6
	女					1																2	8
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																						5
	女																			1	1	2	5
細菌性髄膜炎	男																						
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						2
	女			1																		1	3

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

